

Daily Market Report 2020/9/16

2020.9.17

「ビットコイン上昇も、アルトコインは伸び悩む」

Daily Point

- ・FRB、23年未までゼロ金利 利上げは物価2%到達後（日本経済新聞）
- ・菅内閣が発足 規制改革へ縦割り打破（日本経済新聞）
- ・WTO、米の対中関税をルール違反と判断－「勝者不在」の声も（Bloomberg）



BTCJPY 15分足 当社社内ツールより作成

昨日（9/16）のBTCJPY相場は高値を更新しながら上昇。

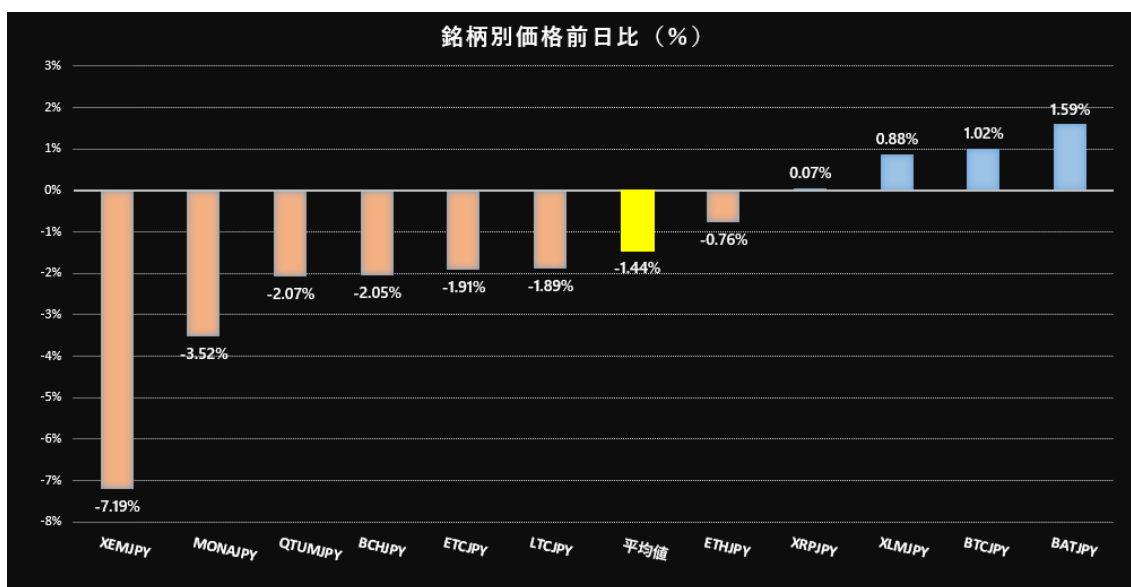
東京市場時間は、連邦公開市場委員会（FOMC）を控えて薄商い。BTCJPYは114.6万円から午前10時には安値となる112.5万円まで下落した。その後、ゴールドが午前11時頃から切り返し反転した流れを受け、BTCJPYも底打ちとなり、午後4時には114.7万円まで上昇した。

欧州市場時間に入っても上値追いは継続し、BTCJPYは午後5時に高値となる115.5万円まで上昇。その後も欧州株高・ゴールド高にサポートされ、午後10時まで114.5万円近辺で堅調に推移した。

米国市場時間に入り、NY ダウは上昇。BTCJPY もつられて 116 万円までの上昇となり、その後は翌午前 3 時にかけて 1 万円の下落となった。同時刻に FOMC で「少なくとも 2023 年末までゼロ付近の金利を維持する」と発表されたことが好感され NY ダウは上昇して営業日高値を更新。しかし、直後のパウエル連邦準備制度理事会（F R B）議長の会見では、予想より早いペースでの米景気回復が継続するか確信していないと示唆され、これが株式上昇の流れに水を差し、引けにかけて 300 ドルほど反落する慌ただしい展開となった。

一方の BTCJPY は、午前 4 時前までに 9/3 以来となる 116 万円台半ばまで回復。しかし、買いも続かず、売りに押されて 115 万円付近まで戻され、その後も 115 万円台での値動きに終始した。ここから 120 万円までは多くのレジスタンスが控えており、上値も重かったようだ。

・ 銘柄別価格前日比 (%)



社内データより作成

9/16 営業日の全暗号資産終値の前日比は上記グラフの通り。

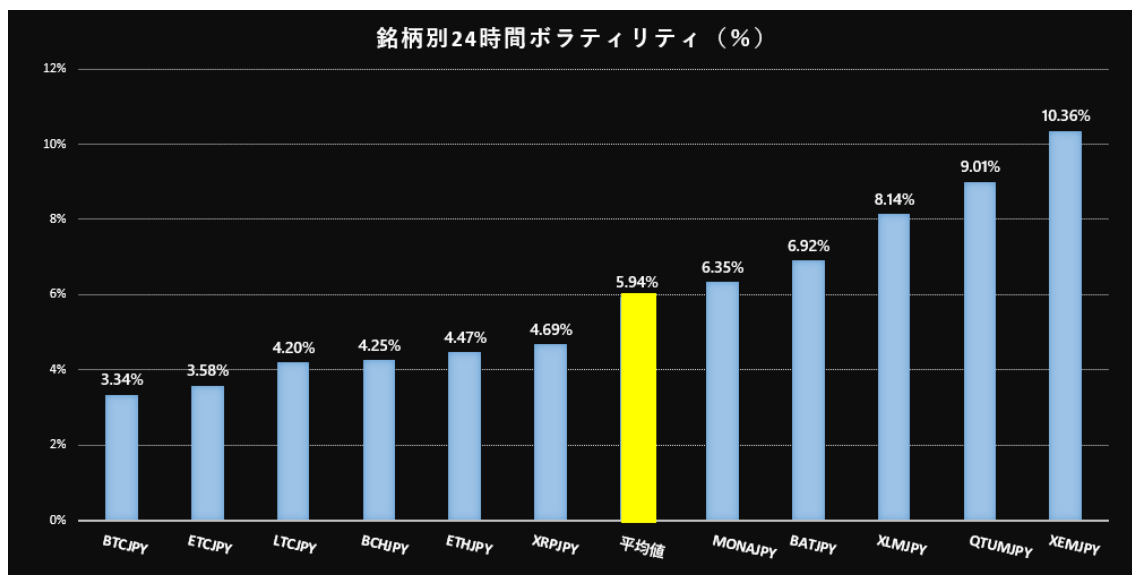
平均値は-1.44%、中央値は-1.89%、標準偏差は 2.37%。

最大下落銘柄は XEMJPY の -7.19%。 最大上昇銘柄は BATJPY の 1.59%。

最大下落銘柄の XEMJPY は引き続きボラティリティの高い値動き且つ下落基調が続いており、このまま 10.5 円の支持線を下抜けしていくのかに注目したい。

一方の最大上昇銘柄は BATJPY。こちらも XEMJPY と同様厳しい値動きとなっているが、下段に詳細のとおり RSI はすでに底を打っており、この上昇を起点として反転していく可能性も視野に入れておきたい。

・ 24 時間 ボラティリティ (%)



社内データより作成

9/16 営業日の全暗号資産の 24 時間ボラティリティは上記グラフの通り。

平均値は 5.94%、中央値は 4.69%、標準偏差は 2.27%。

最もボラティリティが高かった銘柄は **XEMJPY** で **10.36%**。一方、最もボラティリティの低かった銘柄は **BTCJPY** で **3.34%**であった。

・ベーシック アテンション トークン (BAT) の値動きと今後の展開



BATJPY 日足 当社取引ツールより作成

9/16 営業日の最大上昇銘柄は BATJPY の 1.59%となった。

9/16 の BATJPY は下に往って来いの展開となった。午前 7 時から午前 10 時にかけて、25 円から安値となる 24 円まで約 4%下落した。しかしその後は反発をし、午後 9 時には高値となる 25.8 円まで上昇した。

米国市場時間に入ると、値動きは落ち着き、欧州市場時間の 25.8 円付近がレジスタンスとなり 25.25~25.75 円の約 2%幅で揉み合いながら取引時間を終えた。

今年 3 月から下値切り上げで推移していた BATJPY を上図日足チャートと共に考察していきたい。

BATJPY の日足を見ると、8/21 に昨年 5/17 の水準となる 高値 44.8 円 をつけた後に 9 月上旬から大幅下落し、9/7 には 7/27 以来の 23 円の安値 をつけ、約 2 週間で 48.6% 下落 と他アルトコイン同様にボラティルな展開となった。目立った買い材料がない中、200 日移動平均線（黄線）がサポートとなる形で自律反発するも上昇は限定的。今度は 100 日移動平均線（青線）がレジスタンスとなって下落し、現在は 25 円付近で再び 200 日移動平均線を下抜け、安値を目指すかという状況である。

直近では、100 日移動平均線と 200 日移動平均線の 23~28 円のボックス圏相場 が続いている。今後の値動きとして、直近安値と 200 日移動平均線がサポートとして機能しているため、23~23.5 円の固さ を試しに来るだろう。もし下抜けた場合、次は 19.5~20.5 円位 が一つのサポートとなりそうだ。19.5 円を割っていくと目立ったサポートも確認できないため、10 円を目指す可能性が見えてくる。大幅下落に注意する必要があると考えられる。

逆に、9/6 の水準である 23 円台で再び反発した場合、28 円付近に位置している 100 日移動平均線が一つ、9/12 の直近高値とともにレジスタンスとして機能しており、28 円台を上抜けできるかがポイントになる。もし上抜けた場合は 30 円台が見えてくるだろう。

しかし、サポート・レジスタンスラインで価格が跳ね返されレンジブレイクしない場合は、方向感が出るまでもみ合い推移が続くことが考えられる。

となると、レンジブレイクはいつになるのか？という一つの目印として RSI に注目したい。

今年に入ってから RSI が 20 付近（売られすぎのライン）でトレンド転換し、その後 3 週間程かけて上昇をしていることがわかる（上図チャート下部分）。直近では 9/5 で反発をしているため、9 月下旬から 10 月上旬あたりに向けて、価格は上昇することが過去の傾向から考えることができる。

いずれにしても、閑散期はそう長くは続きそうもない。Brave ブラウザの普及等、BATJPY 関連の情報に目を向けつつ、相場動向に注視する必要があるだろう。

(9/17 5:30 作成時点)

- ◆ 本資料においてお客様に提供される情報は、株式会社DMM Bitcoin が収集・作成等したものです。
 - ◆ 本資料は、一般的な情報提供を目的に作成されたものであり、暗号資産取引の勧誘を目的としたものではありません。
 - ◆ 本資料は、本資料作成時点で株式会社DMM Bitcoin が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。
 - ◆ 本資料の情報によって生じたいかなる損害についても、株式会社DMM Bitcoin および本情報提供者は一切の責任を負いません。
 - ◆ 本資料のグラフ・データ等は、過去の実績または作成時点での見通し・分析であり、将来の市場環境の変動や運用状況・成果を示唆・保証するものではありません。また、税金・手数料等を考慮していません。
 - ◆ 本資料に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利は、株式会社DMM Bitcoin または権利者に帰属します。お客様は、本資料に表示されている情報をお客様自身のためにのみ利用するものとし、第三者への提供、再配信、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。
-
- 暗号資産（仮想通貨）は、日本円やドルなどのように国がその価値を保証している「法定通貨」ではありません。インターネット上でやりとりされる電子データです。
 - 暗号資産（仮想通貨）は、価格が変動することがあります。暗号資産（仮想通貨）の価格が急落し、損をする可能性があります。
 - 暗号資産交換業者は金融庁・財務局への登録が必要です。利用する際は登録を受けた事業者が金融庁・財務局のホームページで確認してください。
 - 暗号資産（仮想通貨）の取引を行う場合、事業者が金融庁・財務局から行政処分を受けているかを含め、取引内容やリスク（価格変動リスク、サイバーセキュリティリスク等）について、利用しようとする事業者から説明を受け、十分に理解するようにしてください。
 - 暗号資産（仮想通貨）や計画的なコインに関する相談が増えています。暗号資産（仮想通貨）の持つ課題性を利用したり、暗号資産（仮想通貨）交換業の導入に便乗したりする詐欺や悪質商売にご注意ください。
 - 暗号資産（仮想通貨）は、支払いを受ける側の同意がある場合に限り、その支払いに使用することができます。
 - 暗号資産（現物・レバレッジ）の取引手数料は無料です。レバレッジ取引は建玉を翌営業日まで持ち越すと、建玉金額の0.04%がレバレッジ手数料として発生します。
 - 暗号資産（現物・レバレッジ）取引は、暗号資産（仮想通貨）価格の変動により損失が生じる可能性があります。レバレッジ取引においては、預けた証拠金額を上回る取引が可能である一方、暗号資産（仮想通貨）の急激な価格変動等により、預けた証拠金額を上回る損失が生じる可能性があります。
 - 暗号資産（仮想通貨）レバレッジ取引に必要な証拠金は、各銘柄とも取引の額に対して25%以上となります。
 - 暗号資産（現物・レバレッジ）の価格はスプレッド（売値 (Bid) と買値 (Ask) の差) があります。
 - 上記のリスクは、お取引の典型的なリスクを示したものです。取引に際しては契約締結前交付書面等をよくお読みいただき、それら内容をご理解のうえ、お取引・出資の最終決定は、お客様ご自身の判断と責任で行ってください。

商号：株式会社DMM Bitcoin

暗号資産交換業 関東財務局長 第00010号

第一種金融商品取引業 関東財務局長（金商） 第3189号

加入協会：一般社団法人日本暗号資産取引業協会